

# 2026年 選考会競技方法及び競技規定

## 1 競技方法（基準）

- (1) 組手競技 男女種別階級毎のリーグ戦方式  
(参加人数により競技方法を変更する場合があります)
- (2) 形競技 全空連第1・第2指定形から一つ、自由形を一つ演武  
(参加人数により競技方法を変更する場合があります)

## 2 競技規定

- (1) 全空連競技規定及び全空連審判規定に従い実施する
- (2) 形競技  
全空連第1・第2指定形から一つ、自由形時一つ（得意形リストに記載されている形に限る）の2つを行う（参加者数によっては変更する場合があります）
- (3) 組手競技  
組手の勝敗は、8ポイント差が生じた場合、又は時間終了の際に得点の多い競技者、又は判定により、又は相手に反則、失格、棄権が課せられることにより決められる（参加人数により変更する場合があります）
- (4) 試合時間  
①成年男子、女子 3分間フルタイム
- (5) 安全具  
＜男子組手競技に使用する安全具＞
  - ①拳サポーター（メンホー用全空連検定の赤色・青色のもの）
  - ②ニューメンホー（Ⅶ）
  - ③セーフティカップ
  - ④ボディプロテクター（WKF又は全空連検定のもの）
  - ⑤インステップガード・シンガード(WKF又は全空連検定の赤色・青色のもの)＜女子組手競技に使用する安全具＞
  - ①拳サポーター（メンホー用全空連検定の赤色・青色のもの）
  - ②ニューメンホー（Ⅶ）
  - ③ボディプロテクター（WKF又は全空連検定のもの）
  - ④インステップガード・シンガード(WKF又は全空連検定の赤色・青色のもの)
  - ⑤チェストガード（本予選会は不要）
- (6) その他
  - ①安全具は貸し借りすることのないよう全て各自で準備してください。
  - ②メンホー、拳サポーター、ボディプロテクターは、全空連検定品のものを使用してください。
  - ③マウスピースの着用は任意とします。ただし、マウスピースは白または透明に限定します。